

WFOT Congress 2014 プレコンGRESワークショップ
ワークショップ概要

セッションカテゴリー	1 日ワークショップ
セッションコード	PW 09
セッションタイトル	社会変化の推進: 作業療法・健康・人権 Driving Societal Change: Occupational Therapy, Health and Human Rights
セッション企画者	Clare Hocking
キーワード	作業療法教育, 社会的弱者, Occupational rights
ワークショップ概要	<p>はじめに: 国連や WH の多くの文書は, 健康と人権との関係を主張しています. 両組織は, 健康に暮らす権利を迫るためには貧困の中で暮らす人々, 特に女性と女兒のニーズを満たすよう社会を変化させることが必要であると唱えています. この問題について, 作業療法士はどのように対応することができるでしょうか?</p> <p>学習目標: 1. 参加者は, 以下の重要性を示す書類が利用できるになります:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 人間の権利としての職業の権利フレーミング • 地域住民, 地域社会, 個人の人権問題に関する収集データ • 社会的, 経済的, 健康格差と多様性への対応の設計カリキュラム • 作業療法における学生の教育 • 尊敬, 寛容との認識の原則(ユネスコ, 2011)を実践する卒業生の育成 <p>2. 参加者は, 以下のことを立証できるようになります</p> <ul style="list-style-type: none"> • 作業療法が不健康や労働権の欠如を生み出す社会状況に視点を置く理由 • 人間の労働権利の倫理的基盤 • このような能力の理論(ヌスバウム, 2011)などの新たな知識の必要性. <p>方法: まず, WFOT インターナショナル・アドバイザー・グループが作成したビジョン「人権」を学習します. つまりあらゆる作業療法教育プログラムには, より包括的な社会を作るために, 社会を変えることができる理論と実践的な教育が含まれています.</p> <p>教育方法: 簡単なプレゼンテーションとこのビジョンの作成者との対話, 社会を変革させようとする教育者およびセラピストの話への共感.</p> <p>ワークショップの成果: 参加者は, WFOT ウェブサイトを介して共有された, 参考文献, 地域固有の優先課題, 戦略, 社会変化のための例などのドキュメントを使用します.</p> <p>参考文献: Nussbaum. M. (2011). Creating capabilities: The human development approach. Cambridge: Belknap Press. UNESCO. (2011). Contemporary issues in human rights education. http://www.hrea.org/ WFOT. (2006). Position statement on human rights. http://www.wfot.com/</p>
人数	-